

『ビジネスパーソン向け 「実践！哲学対話」プログラム』ブース発表内容

フェリックス・パートナーズ株式会社

1. 「ビジネスの実践」と「人間の行為と省察」の絶え間ない行き来に必要な実践哲学

ハイパーコンペティション、経営環境の不確実性、短期的結果主義、企業組織の短命化傾向の中で、「現在に限定した適合」のみを採求するのではなく、持続的価値向上を見出すことができる組織が求められる。そこには未来的な視点が必要であり、「何が大切かという問いかけ」を行う哲学的な考察を、経営やビジネスパーソンの生き方・考え方に転じて、企業経営の分野に適用するのが実践経営哲学の領域である。

『マネジメントとは、立派に実践すれば最も崇高な職業の一つだと、心から信じている。人が学び、成長し、責任を担い、功績を認められ、チームの成功に貢献するのを、これほど多くの意味で手助けできる職業はほかにない』 —クレイトンM・クリステンセン—

ビジネスパーソン向け「実践！哲学対話」プログラムを通じて、持続可能な企業価値とは何かや、その主役である人間の複雑さ、可能性の広がり、葛藤や解決などを多面的に省察する。それにより、組織および自らが描く理想や夢に従って、個と組織を発展させていく対話プログラムである。

2. ビジネスパーソン向け 「実践！哲学対話」プログラム事例紹介

弊社では、哲学対話を企業の人材育成に活用するための取り組みを続けてきた。その内容をブースでは展示発表している。

【主な展示内容】

1. 経営を担うリーダー候補のための「ビジネス哲学対話」プログラム
2. 企業研修における哲学対話の事例
3. 働く女性向けの哲学カフェ「MOVIE&TALK」プログラム

以上

【フェリックス・パートナーズ株式会社】

当社は、「人を通じて組織を拓く」を信条に、企業の組織変革・組織能力向上・実践人材育成の支援を行っています。3年前より、ビジネスパーソン向けの哲学対話プログラムを開発・実施しています。